

青森開港400年 記念シンポジウム



詳しくは



みなとまち・あおもり
誕生400年記念公式HP

令和7年

12月13日(土)

13:00~15:30 (12:30 開場)

ねぶたの家 ワ・ラッセ イベントホール

青森開港400年における文化を振り返り、未来の展望を
考えることを通して、市民一人ひとりの愛着や
郷土愛、シビックプライドを一層育む機会とします。
港がつなぐ青森の未来を一緒に考えてみませんか。

第一部
基調講演



「クルーズの魅力と
おもてなしへの市民参画」
クルーズライター

上田 寿美子氏

マツコの知らない世界 出演

第二部

パネルディスカッション

コーディネーター



株式会社まちづくり青森 社長
高樋 忍氏

パネリスト



みなとまち・あおもり
誕生400年実行委員会 実行委員長
(青森市長)
西 秀記氏



紀行作家
山内 史子氏



日本港湾協会 専務理事
中島 洋氏



特定非営利活動法人
あおもり若者プロジェクト
クリエイティブ

先着180名

お問合せ

みなとまち・あおもり誕生400年実行委員会

TEL

017-734-5415 (青森市経済部交流推進課)

参加には事前申込みが必要です 右記の二次元バーコード
より参加フォームに必要事項を入力してお申込みください

お申込みは
こちら



主催/みなとまち・あおもり誕生400年実行委員会

青森開港400年 記念シンポジウム



令和7年 **12月13日** 土

ねぶたの家 ワ・ラッセ
イベントホール



プログラム

- ① 12:30 ~ 開場
- ② 13:00 ~ オープニング「青森開港400年記念映像」映写
- ③ 13:10 ~ 主催者挨拶(実行委員長 西 秀記)
- ④ 13:15 ~ 基調講演
「クルーズの魅力とおもてなしへの市民参画」
- ⑤ 14:05 ~ 休憩
- ⑥ 14:15 ~ パネルディスカッション
「過去から未来へ 港がつなぐ、人とまち」

■ 基調講演

「クルーズの魅力とおもてなしへの市民参画」

クルーズ船の寄港数が過去最高となった今、みなとまち青森の持つ価値や魅力を再認識し、今後、市民一丸となって観光都市として発展していくためのヒントについて講演していただきます。



クルーズライター **上田 寿美子氏**

日本外国特派員協会会員、日本旅行作家協会会員。クルーズ旅行の楽しさを伝え続けて30年以上。外国客船の命名式に日本を代表するジャーナリストとして招かれるなど、世界的に活動するクルーズライター。著書に「豪華客船はお気に召すまま」(情報センター出版局)、「世界のロマンチッククルーズ」(弘済出版社)、「ゼロからわかる 豪華客船で行くクルーズの旅」(産業編集センター) など。2013年からクルーズ・オブ・ザ・イヤー選考委員。

2015年から2025年にかけて、TBS系列「マツコの知らない世界 豪華客船の世界」に6回ゲスト出演。放送直後、数々のクルーズ会社のサーバーがダウンするなど、大きな反響を呼ぶ。

■ パネルディスカッション

「過去から未来へ 港がつなぐ、人とまち」

青森市は港を中心に発展を続けてきましたが、港は単なる輸送拠点ではなく、人や文化、地域経済をつなぐ役割を果たす重要な存在です。青森港の現在の役割と未来について、皆で考えてみませんか。

パネリスト



コーディネーター
株式会社まちづくり青森 社長
高樋 忍氏



みなとまち・あおもり
誕生400年実行委員会
実行委員長
(青森市長)
西 秀記氏



特定非営利活動法人
あおもり若者プロジェクト
クリエイト



紀行作家 **山内 史子氏**

青森市出身。史跡や物語の舞台を中心に国内外を旅して全都道府県および40カ国を訪問。東奥日報にてエッセイ連載のほか、「英国ファンタジーをめぐるロンドン散歩」(小学館)、「ニッポン『酒』の旅」(洋泉社)などを出版。2025年、食とお酒を通じて青森の魅力を伝える旅エッセイ「青森ほろ酔い旅」を出版。2013年4月～2025年3月、津軽海峡交流圏ラムダ作戦会議委員(青森県)。



日本港湾協会 専務理事 **中島 洋氏**

大分県出身。1989年運輸省採用後、港湾・空港を中心に社会資本の計画・整備や国土管理に関する業務を担当。2007年から2年間東北地方整備局青森港湾事務所長、2015年から3年間東北地方整備局港湾空港部長など東北勤務は通算10年間。国土交通省退職後、2024年より(公社)日本港湾協会専務理事兼港湾政策研究所長。2025年4月より青森県地方港湾審議会委員。

